

令和5年度 教職員等消費者教育セミナー

参加無料

～すぐ役立つ、すぐ使える 消費者教育の最新情報～

授業例の実践報告や教科に関わらず**役立つ情報**をお伝えします！

消費者教育に役立つ**最新情報**を提供します！

即活用できる**学習教材**を紹介・体験します！

日程・テーマ

7月24日（月）金融経済

7月25日（火）成年年齢引き下げ・デジタル社会

7月26日（水）金融経済・製品安全・食

7月28日（金）法・子供の貧困・金融経済

8月 1日（火）悪質商法・SDGs・消費者教育

※埼玉県消費生活支援センター・彩の国くらしプラザを見学

※**全講座無料**で、各日1コマから受講できます

（ただし、8月1日（火）は1日通しての参加のみの受付になります）

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、一部の講座について中止

若しくはオンラインにて実施となる場合があります。

各講座の詳細は次のページへ

★令和4年度受講された方のうち、
約95%が「**活用できる**」と回答！



こんな手口で寄ってくるんだ！とか、こんな話術で騙されるんだ…とびっくりした。生徒たちに絶対必要な内容だと思いました。（悪質商法）



SNSで性犯罪を受けている子が、昨年1年間で1800人もいることにビックリした。ネットが及ぼす多様な新しい社会に送り出す子どもに何が必要なのかを考えさせられた。（ネット・スマホ）



主 催：埼玉県消費生活支援センター 埼玉県教育委員会

共 催：埼玉県金融広報委員会

後 援：金融広報中央委員会

対 象：県内の全小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員（教科不問）及び職員、その他消費者教育に携わる方

申 込：希望講座を電話・FAX・E-mailのいずれかでお申し込みください。

（受付開始：令和5年5月22日（月））

受付申込順（お申し込み者全員に参加可否をご連絡します）

会場

◆埼玉会館 3C会議室【7月24日(月)、25日(火)、26日(水)、28日(金)】
(さいたま市浦和区高砂3-1-4 JR浦和駅から徒歩6分)

◆埼玉県生活科学センター（彩の国くらしプラザ）【8月1日(火)】
(川口市上青木3-12-18 SKIPシティ JR川口駅・西川口駅からバス「川口市立高校」下車)

お申込み
お問合せ先

埼玉県消費生活支援センター 情報・学習支援担当
電話：048-261-0995 FAX：048-261-0962
E-mail：m4308776@pref.saitama.lg.jp

★定員 各講座 30名

《 セミナープログラム 》

《 7月24日(月)【金融経済】会場：埼玉会館3C会議室 》

No.	時間	講座テーマ	講座内容	講師
①	10:00 ～ 12:00	県立高校学際的な学び事業 「学・SAITAMAプロジェクト」紹介 金融授業 『知っているだけで未来が変わる？ 高校生のための金融リテラシー力』	【埼玉県教育局高校教育指導課連携プログラム】 高校生向けの契約、ライフプラン、資産管理についての金融 授業をデモンストレーションで行います。	高校教育指導課 教育課程担当 アクサ生命保険株式会社 (県立高校学際的な学び 推進事業から)
②	13:00 ～ 14:30	社会に出る前に知っておきたい！ 働く時の基礎知識	学生が社会人になる前に、労働法や労務の基本として知って おきたいこと(特に給与表の見方)、社会保障制度について 解説します。	埼玉県社会保険労務士会 社会保険労務士 熊谷 一郎 氏
③	15:00 ～ 16:30	新NISAはどこが変わる？ 押さえておきたいポイント	新学習指導要領に資産形成が盛り込まれたことを受け、資産 形成の基礎から既存のNISA(一般・積立)及びiDeCoから、 2024年から始まる新NISAについてわかりやすく解説します。	埼玉県金融広報アドバイザー 嶋田 哲裕 氏

《 7月25日(火)【成年年齢引き下げ・デジタル社会】会場：埼玉会館3C会議室 》

No.	時間	講座テーマ	講座内容	講師
①	10:00 ～ 12:00	主権者教育×消費者教育 教科横断的な視点から 18歳成年を考える	18歳成年を消費者教育に限定せず、教科横断的な視点で捉 え直すことで、生徒の学びは広がっていきます。昨年度、蓮田 松韻高校で実施した、家庭科と公民科の教科間連携を意識し た取り組みをご紹介します。高校に限らず小中学校の先生 方も一緒に、様々な校種・教科の立場から、18歳成年の意味 を共に考えていきましょう。	埼玉県立蓮田松韻高等学校 教諭 池垣 陽子 氏 小林 昭宏 氏
②	13:00 ～ 14:30	デジタル社会の入り口で身に着 けておきたいネットやスマホとの 付き合い方 ～トラブルを起こさず、 巻き込まれないために～	chatGPTに代表されるAIを活用したサービスの登場はまさに デジタル社会の到来といえます。そんなデジタル社会で、将来 子どもたちがネットを社会活動の中で利用する上で、被害者 や加害者にさせない、コミュニケーション力や情報発信をはじ めとした情報モラル・リテラシーについてお話します。	一般財団法人草の根サイバー セキュリティ運動推進協議会 常務理事 吉岡 良平 氏
③	15:00 ～ 16:30	デジタル社会に向けて、悪意に 負けないためのセキュリティ意識 ～Z世代の利用者が 情報を適切に扱うために～	GIGAスクール構想や校務システムの普及により児童・生徒や 教職員もネットワークで、教育委員会などにつながるになり ました。こうした環境下ではネットワークを利用するすべての 者がセキュリティへの意識が必要です。学校での情報活用に おいて、大切な情報を守るためのセキュリティについてお話し します。	一般財団法人草の根サイバー セキュリティ運動推進協議会 常務理事 吉岡 良平 氏

《 7月26日(水)【金融経済・製品安全・食】会場:埼玉会館3C会議室 》

No.	時間	講座テーマ	講座内容	講師
①	10:00 ～ 11:30	生徒に伝わるクレジットのしくみ ～新学習指導要領に対応する、 授業のポイントを解説！～	クレジット業界団体ならではの視点で、実例を交えつつ、クレジットについての知識、ローンとの違い、リボ払いの手数料計算、生徒へ教える際のポイントやクレジット契約に関する疑問解消など、知りたい事柄を重点的に解説します。	一般社団法人 日本クレジット協会
②	12:30 ～ 14:00	学校、家庭での安全な製品の 使い方	身近に起こる製品事故事例から、製品の正しい取扱方法や注意点について考察します。	独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課長 矢代 勲 氏
③	14:30 ～ 16:30	鵜呑みはアブナイ ～氾濫する食情報を 読み解くために～	食べ物や栄養が健康や病気に与える影響を過大に評価したり信じることを指す“フードファディズム”。宣伝広告やマスメディアからの食情報に紛れ込むフードファディズムを見極め、適切な食生活を営むためのヒントをお話します。	群馬大学名誉教授 食品の広告問題研究会主宰 高橋 久仁子 氏

《 7月28日(金)【金融経済・子供の貧困・法】会場:埼玉会館3C会議室 》

No.	時間	講座テーマ	講座内容	講師
①	10:00 ～ 12:00	障がい有児・生徒に 対する金銭・金融教育 ～お金の管理やトラブル防止を 支えるためにできること～	障がい有児・生徒のお金をめぐる感覚・管理・トラブル防止を支えるための、実践的な金銭管理の方法とトラブル防止策についてお伝えします。 【共催:一般財団法人ゆうちょ財団】	社会福祉士 一般財団法人ゆうちょ財団 知的障がい者等に対する金融 教育支援員 江國 泰介 氏
②	13:00 ～ 14:30	埼玉県の子どもの貧困と 学習支援 ～貧困の連鎖を断ち切る～	埼玉県では全国に先駆け、生活保護世帯の中学生を対象に高校進学に向けた学習支援事業を開始し、また高校生中退防止の支援にも取り組んでいます。中高生向けアスポート事業(学習教室・家庭訪問)と小学生向けジュニア・アスポート事業(学習・体験活動・食育、生活支援)についてお話します。	社会福祉課 医療保護・生活困窮者支援担当 (一社)彩の国子ども・若者支援 ネットワーク代表理事 土屋 匠宇三 氏
③	15:00 ～ 16:30	わかりやすくお伝えします！ ～18歳成人を迎えて学ぶ 消費者を守る制度～	消費者を守る制度と実際の救済の流れについて、消費者契約法の改正のポイントやその他法律(特商法、電子契約法、景品表示法)を中心に、弁護士がわかりやすく解説します。	埼玉弁護士会所属 弁護士 宮崎 裕悟 氏

《 8月1日(火)【悪質商法・SDGs・消費者教育】会場:彩の国くらしプラザ 》

No.	時間	講座テーマ	講座内容	講師
①	10:00 ～ 11:30	消費生活支援センターの活動・ 取り組みについて 彩の国くらしプラザ悪質商法 体験ブースの見学	消費生活支援センターの消費者相談、商品テストについて説明・見学します。また、消費生活分野で全国でも類を見ない参加・体験型施設である彩の国くらしプラザを見学・体験します。	埼玉県消費生活支援センター 彩の国くらしプラザ
②	12:30 ～ 14:30	【調理実習】 フードロスを防ぎながら防災食を 備蓄する ～備蓄食材を使った簡単レシピ～	防災食についての基本的な講義や防災食を用いた調理実習を行います。防災食を普段の食事に取り入れながら買い足していくローリングストックを行うことで、フードロスを防ぎましょう。	(株)オフィスRM代表取締役 管理栄養士・ 防災食アドバイザー 今泉 マユ子 氏
③	15:00 ～ 16:15	①【実践報告】消費者教材の 活用について ②学校における金融経済教育の 実施について	①埼玉県消費生活支援センター研修生としての実践報告・作成した消費者教材についてお話します ②学校における金融経済教育の実施について、ワークショップを交えながら、観点別評価についても情報交換及び意見交換を行います。	埼玉県立浦和商業高等学校 教諭 青木 由紀子 氏

「令和4年度セミナー参加者の主な感想」

- 最新のネット情報が知ることができて、大変勉強になりました。（ネット）
- 実際にどのように活用したのか、生徒の反応も踏まえて説明していただいたので、活用しやすく感じました。（金融経済）
- 消費分野、食分野どちらにも活用ができる内容が聞けて良かったです。（SDG s）
- 実際のトラブルの事例を知ることができたので、それを生徒に伝えるなどして活用できると思いました。（悪質商法）
- 動画や絵本など、視覚的に生徒に示すことはとても効果的であり、その情報を示していただき、ありがとうございます。さっそく使わせていただきます。（消費者教育）
- 自然に触れ学べる環境で、校外学習でまた伺わせていただきたい。出前講座も検討したいです。（環境）

令和4年度
セミナーの様子



令和5年度 埼玉県教職員等消費者教育セミナー 申込書



埼玉県消費生活支援センター 情報・学習支援担当宛

FAX : 048-261-0962 E-mail : m4308776@pref.saitama.lg.jp

※新型コロナウイルスの状況により、一部中止若しくはオンラインでの実施となる場合もあります。

その際はメールで参加者に御連絡いたします。

セミナーご案内
（「申込書」をダウンロードできます）

記入日 令和 年 月 日

（ふりがな） 氏 名	()			
職 業	該当するものに○を御記入下さい。			
	教職員（学校名：)		担当教科：)	
	その他（)			
連絡先	電話		FAX	
	E-mail	<p>当センターからの連絡は原則としてメールで行います。</p> <p>平日の昼間に確実に連絡の取れるメールアドレスを御記入ください。</p>		
希望講座 <small>参加を希望する講座 全てに○を付けてください</small> <small>※8月1日(火)は、 1日通しての参加のみの 受付になります。</small>		①	②	③
	7/24(月)			
	7/25(火)			
	7/26(水)			
	7/28(金)			
	8/1(火)			
《講座に関する要望や講師への質問など自由記述》※御希望に添えない場合もございます。				